

計測 50 周年記念パンフレット

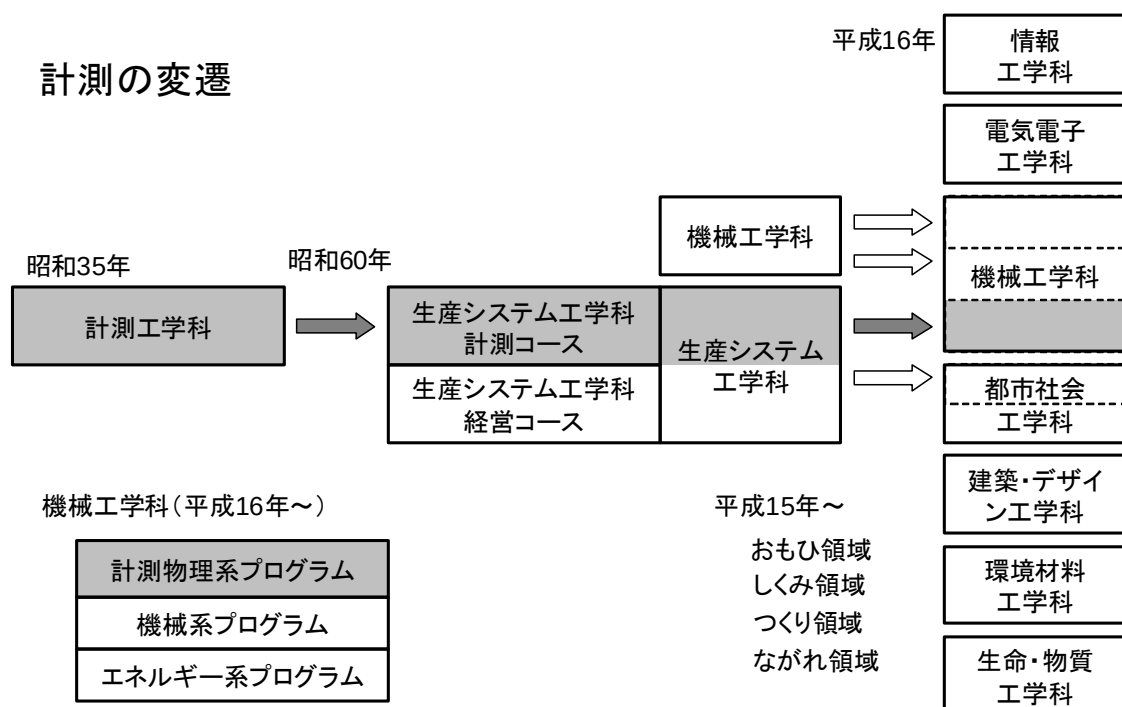


2号館B棟（計測物理系プログラムの多くの研究室が入る）

平成 22 年 10 月

計 測 会

計測の変遷



計測50周年記念パンフレット付録CD-ROM

巻頭言

創設期のこと

入学時の集合写真（存在している年のみ）

計測工学科創立25周年記念誌

卒業研究論文リスト

修士論文リスト

メールマガジン等

資料写真

「計測」

カリキュラムの変遷

会則，役員



仮装行列。
(F39 重田氏提供)

仮舎から完成した計測棟への引越し。自らの手での作業。
(F39 重田氏提供)



修士論文の研究のために実験装置
(風洞) を作製している様子。
(F46 小鍛治氏提供)



昭和 60 年生産システム工学科の学生が入学。入学試験は計測工学科として受験。この年が計測としての入学時集合写真撮影の最後となる。(写真は入学者写真 2 枚のうちの 1 枚)



平成 2 年当時の御器所キャンパス全景。1 号館の残り半分が建設中。2 号館はまだ建てられていない。



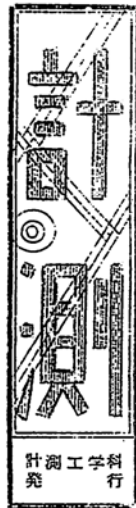
2 号館をニュートンリングの上から望む。向かって左側が A 棟、右側が B 棟 (計測物理系プログラムの研究室の多くが入っている)。

教員と研究室（平成 22 年 10 月現在）

■ 計測物理系プログラム

● 教授	研究キーワード	研究室
市川 洋	表面科学・薄膜物理とその応用, レーザー応用, ナノ構造物理とその応用	薄膜研究室
一瀬 郁夫	高温超伝導の理論的解明, 素粒子論, 場の理論の研究, 量子コンピュータの物理学的研究	理論物理学研究室
大鑄 史男	セル・オートマトン, カオス・フラクタル, 群衆流動, シミュレーション, 複雑系	システム数理研究室
尾形 修司	並列計算機を活用する材料設計シミュレーションコードの開発, 並列計算機, 電子物性, 原子構造, コンピューターシミュレーション, 材料設計	計算物性研究室
後藤 俊幸	乱流の統計理論, 計算科学的手法による流れの解析, 非線形現象の科学	機械計測研究室
杉山 勝	熱統計力学, 特に非線形・非平衡系の研究, 非線形科学, いわゆる複雑系等, 連続体力学	熱統計力学研究室
種村 眞幸	炭素, 金属, 半導体 1 次元ナノ材料の作製と環境・エネルギー材料への応用	ナノ機能材料研究室
南 範彦	トポロジー・幾何学・数理物理学および, それらの応用	トポロジー・幾何学数理物理学研究室
袈 鐘石	テラヘルツ帯回路および計測技術の研究・開発	テラヘルツ波計測工学研究室
● 准教授	研究キーワード	研究室
在田 謙一郎	有限量子多体系の構造, 周期軌道理論	原子核理論研究室
小野 晋吾	紫外発光デバイス, 紫外光センサ, ワイドギャップフッ化物材料, レーザー加工	薄膜研究室
木村 高志	プロセス用プラズマの計測とモデリング, 大気圧放電の工学的応用	プラズマ科学研究室
丹澤 和寿	高分子結晶の成長キネティクス, 結晶性高分子の高次構造形成機構	物性計測研究室
内藤 隆	渦輪, 間欠噴流, 交番噴流の形成過程と最適化に関する研究	機械計測研究室
馮 偉	待ち行列ネットワーク理論と移動通信ネットワークシステムの性能解析	システム数理研究室
米谷 昭彦	プロセス制御とシステム同定, 電子回路への制御応用	自動制御研究室
渡邊 威	大規模 DNS による乱流中のスカラー輸送の統計, 地衡流乱流における輸送過程の統計理論	機械計測研究室
● 助教	研究キーワード	研究室
礪部 雅晴	非平衡系(特に粉体系)の計算統計物理学, 分子動力学法の方法論	熱統計力学研究室
小田 昭紀	非平衡弱電離プラズマのモデリング, 誘電体バリア放電, 真空紫外光源, オゾナイザ	プラズマ科学研究室
小林 亮	マルチスケール・シミュレーション手法, 計算物性物理	計算物性研究室
浜口 孝司	化学プラント運転支援システムの開発, バッチプラント統合情報環境の開発	自動制御研究室
柳谷 隆彦	超音波応用計測, RF-MEMS, イオンビームによる薄膜の配向制御, 多結晶集合体の弾性と圧電特性	

機械工学科ホームページのデータに基づき本会で作成



創刊に当って

十八世紀より産業革命を経て、資本主義社会、社会主義社会を問わず生産様式は科学の発達と相まって長足の進歩をなした。それは今日では機械が人間を支え、その労働力を補助するといふ現象を呈するようになつたのである。それはしかし、その反面、社会問題をその時代に投げつけ、解決をせよとの要求を今日、資本主義社会においては、生産設備のオートメ化により企業合理化が進むにつれて、種々の社会問題の勃発を見た。

我々計測工学科に学ぶ学生にと

軸感

不快指数が八十を越すようになると、毎日が長い夏休み、休みの或る日、ほんやりと寝て、べつて我々の約主共の少年雑誌のマンガを見て、マンガ本には不似合なものを見つけてびっくりした。昨今はやりの宇宙旅行を扱ったそのマンガに「計測雑誌」という言葉が写り込んでいたのだ。ソ連のボストロフの影に写った子供のマンガに、計測という言葉も子供のマンガ本に登場するほどポピュラーになつたかと一人で笑にいついた。

「計測なくして科学は無い」これは「計測法概論」の序に書かれていた言葉であるが、さて計測とは何かと問ふ直つてたずねられると、計測工学科に学ぶ我々も多少困窮を感じざるを得ない。何故ならは教壇の脇先生方、たゞそれと存はせざるで、さつぱり疑問を問ない。ましては教壇の先生方の見方たるや、花嫁正のにきやかさで、どちらへ問を向けてよいものやら、眼のさわる感じがする。

しかしながら、それほどまでに大上段にふりがぶつて時えなくとも、我々は日常生活において無意識に多くの計測を行つてゐるようである。朝、眼を覚ます。機織に遅れないかと時計を見て時間を知る。これも一つの計測だ。また、今夏の流行語不

存在を否 高学府に 譲りや よりな道 ンジニア 術習にな る。

以上のよ 述の疑問 的な意 たる。 計測 ことに ても計 もつてあ もるさ 決定した る。

「計測」 測工学科 の研究を正 精神と認 生々活を 学生と教

計測科新聞創刊号（部分）

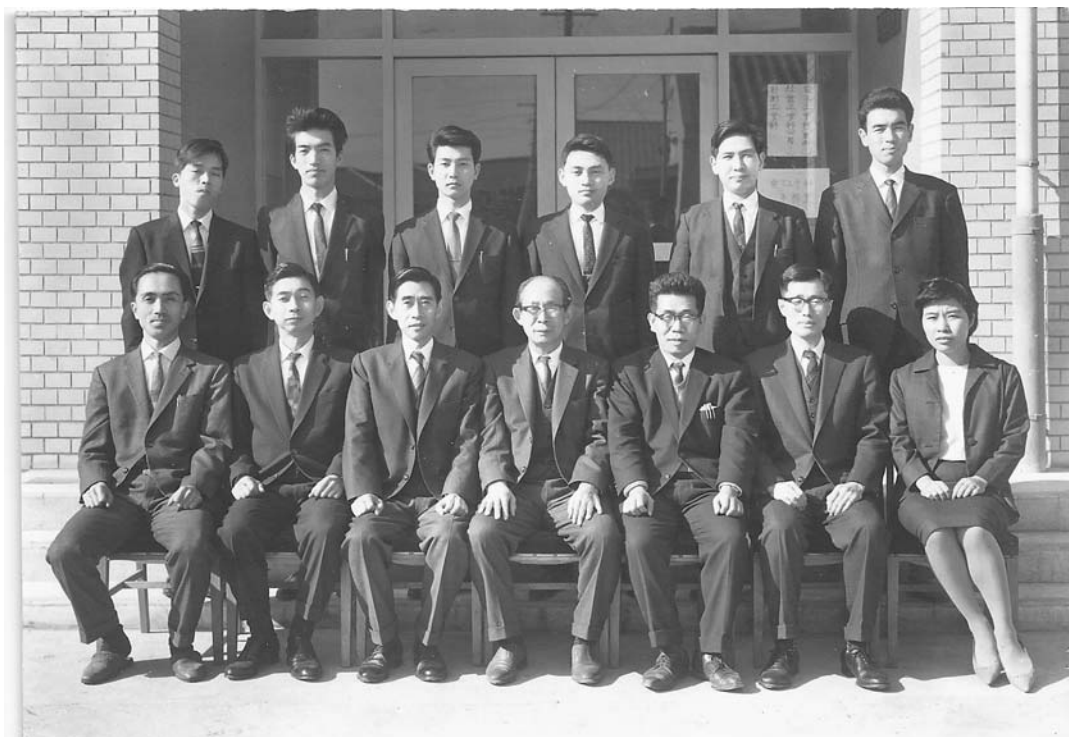


目次

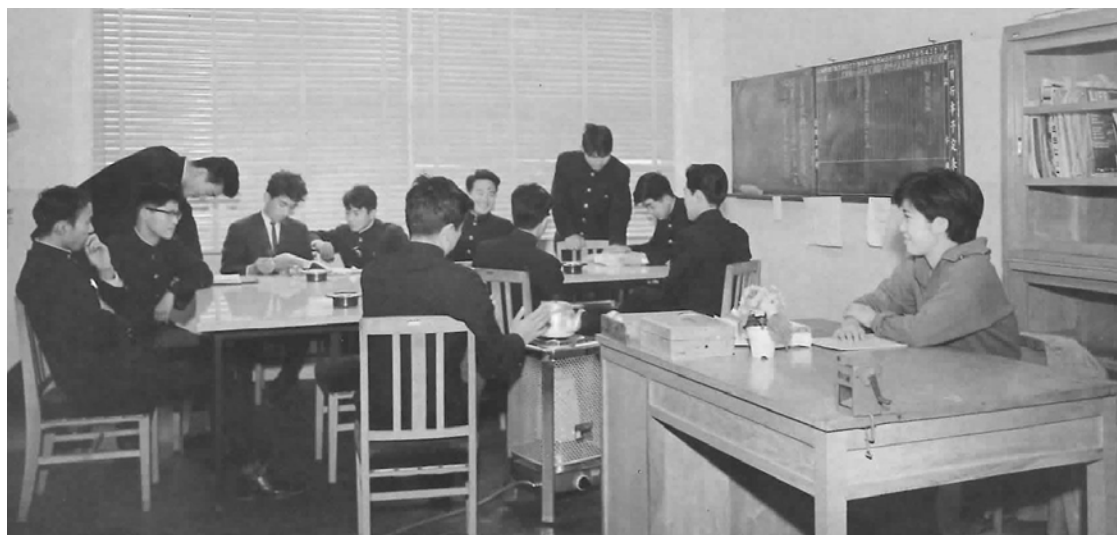
(本会にて転記)

- はじめに
- 巻頭言
- 計測工学科の完成に際して
- 計測工学科に思う
- 技術革新と工学のあり方
- 講座内容紹介
 - 計測数学
 - 物理計測
 - 機械計測
 - 電気計測
 - カリキュラム
- 座談会「計測工学の実状と展望」
- アンケート「産業界は斯く考える」
- 特別寄稿「名古屋地下鉄の自動列車運転装置」
- 編集後記

工大際向けパンフレット 計測 1963（表紙と目次）



創設期のスタッフ



事務室の様子（昭和 39 年）



現在の旧計測棟。入り口より西側が
取り壊された。



昭和 38～39 年当時の計測工学科。
第 1 回生卒業アルバムより転載



編 集	計測会 （担当：F39 小野田，F60 米谷）
発 行	平成 22 年 10 月 30 日 計測会
印 刷	株式会社ダイテックホールディング